



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月6日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社
 コード番号 4095 URL <https://www.parker.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 佐藤 乾太郎
 (氏名) 田村 裕保

TEL 03-3278-4333

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	28,091	9.6	3,998	△7.7	5,066	△0.5	2,829	△4.3
30年3月期第1四半期	25,641	3.8	4,331	14.2	5,094	31.7	2,955	27.0

(注)包括利益 31年3月期第1四半期 595百万円 (△86.6%) 30年3月期第1四半期 4,439百万円 (607.9%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
31年3月期第1四半期	23.32	—	—	—
30年3月期第1四半期	24.36	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円	百万円	円	%	円
31年3月期第1四半期	218,642	—	161,987	—	62.7	1,129.04
30年3月期	219,988	—	163,255	—	62.9	1,140.28

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 136,988百万円 30年3月期 138,352百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
30年3月期	—	10.00	—	13.00	23.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期期末配当金の内訳 普通配当11円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	116,500	1.4	18,200	1.2	20,600	△0.7	12,600	△1.0	103.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 — 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) パーカー興産(株)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	132,604,524 株	30年3月期	132,604,524 株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	11,272,296 株	30年3月期	11,272,204 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	121,332,300 株	30年3月期1Q	121,331,912 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11
(1) 四半期毎の業績の推移(連結)	11
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	12
(3) 四半期毎の業績の推移(提出会社個別)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成30年4月1日から平成30年6月30日まで)における世界経済は、全般的に底堅く推移しておりますが、米国・中国間の通商政策を巡る政策動向や地政学的リスクの影響が懸念されるなど、世界景気の減速に繋がるとの警戒感がぬぐえないことから、依然として先行き不透明な状況が続きました。また国内経済は、堅調な企業収益を背景に設備投資が増加し、雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調を維持しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、主要な供給先であります自動車業界では、国内の自動車生産は前年同期を上回り、中国をはじめ海外においても堅調に推移いたしました。もう一つの柱である鉄鋼業界では、国内外の鋼材需要は増加しております。

このような状況のなか、当社グループでは、当連結会計年度を最終年度とする第2次中期経営計画のもと、「事業基盤の強化・拡大」、「技術立社」、「企業体質の基盤強化」を三本柱に既存分野の更なる深耕、新規事業分野への積極的なチャレンジを推進しております。また、お客様満足度を高める迅速で的確なサービスと高品質製品供給のために、グローバルな品質改善活動と開発体制強化に努めております。

この結果、当第1四半期の連結業績は次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期累計期間 (平成31年3月期)	28,091	3,998	5,066	2,829
前第1四半期累計期間 (平成30年3月期)	25,641	4,331	5,094	2,955
増減金額	2,449	△333	△27	△126
増減率	9.6%	△7.7%	△0.5%	△4.3%

売上高は28,091百万円と前第1四半期累計期間(以下、前期)に比べ2,449百万円(9.6%)の増収となりました。装置事業で設備物件の検収があがり増収で推移いたしました。事業の種類別セグメント毎の売上高は、前期に比べ薬品事業が3.1%、装置事業が67.7%、加工事業が4.3%の増収、その他が△2.2%の減収で推移しております。また、地域別セグメントは、国内が6.7%、アジアが18.5%の増収、欧米が△3.5%の減収で推移しております。(セグメントの増減率は外部顧客売上高を基礎にしております。)

営業利益は3,998百万円と前期に比べ△333百万円(△7.7%)の減益となりました。収益率の低下により売上総利益は10,517百万円と前期並みに留まり、**販売費及び一般管理費**は子会社の吸収合併による統合費用等により6,518百万円と前期に比べ329百万円(5.3%)増加いたしました。この内訳は人件費が1.3%、経費が11.6%それぞれ増加いたしました。

経常利益は5,066百万円と前期に比べ△27百万円(△0.5%)の減益となりました。**営業外の収支**は1,067百万円の収入となり、前期に比べ305百万円増加いたしました。この結果、当第1四半期累計期間の**総資産経常利益率(ROA)**は2.3%(年換算9.2%)と前期に比べ0.3ポイント減少いたしました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は2,829百万円と前期に比べ△126百万円(△4.3%)の減益となりました。この結果、当第1四半期累計期間の**自己資本利益率(ROE)**は2.1%(年換算8.4%)と前期に比べ0.3ポイント減少いたしました。

【為替の影響額】

海外業績の換算による損益計算書に与える影響額は、売上高で78百万円程度の増収、営業利益で12百万円程度の増益となっております。

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益)			
	前第1四 半期累計	当第1四 半期累計	増減額	増減率	前第1四 半期累計	当第1四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	11,267	11,611	343	3.1%	2,368	2,065	△303	△12.8%
装置事業	2,456	4,119	1,663	67.7%	△32	△92	△60	△189.2%
加工事業	10,903	11,367	464	4.3%	2,275	2,274	△1	△0.0%
その他	1,014	992	△22	△2.2%	45	47	1	3.3%
調整額(消去)	—	—	—	—	△325	△295	30	—
連結損益計算書計上額	25,641	28,091	2,449	9.6%	4,331	3,998	△333	△7.7%

① 薬品事業

外部顧客に対する売上高は11,611百万円と前期に比べ343百万円(3.1%)の増収となり、営業利益は2,065百万円と△303百万円(△12.8%)の減益となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。国内では連結子会社の増加により増収となり、海外ではタイで金属表面処理剤の販売が堅調に推移いたしました。収益面では、りん酸・亜鉛などの原材料価格の上昇や子会社の吸収合併による統合費用の増加などにより減益で推移いたしました。

② 装置事業

外部顧客に対する売上高は4,119百万円と前期に比べ1,663百万円(67.7%)の増収となり、営業損失は△92百万円と△60百万円(△189.2%)赤字幅が拡大いたしました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。当事業の業績は物件ごとの検収時期の影響を受けるため、短期の業績比較は難しい事業であります。当第1四半期では中国において自動車及び関連メーカー向け設備の設置が完了し大幅に増収となりました。収益面では、海外での受注競争激化による収益率の低下や追加コストの発生もあり減益で推移いたしました。

③ 加工事業

外部顧客に対する売上高は11,367百万円と前期に比べ464百万円(4.3%)の増収となり、営業利益は2,274百万円と△1百万円(△0.0%)の減益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。国内では自動車部品における加工処理の需要増加により、防錆・熱処理加工ともに順調に推移いたしました。海外では前期後半以降、メキシコの新工場が順調に稼働しております。収益面では米国や中国で設備改修のための一時的な費用が発生したこともあり、前期並みに留まりました。

④ その他

外部顧客に対する売上高は992百万円と前期に比べ△22百万円(△2.2%)の減収となり、営業利益は47百万円と1百万円(3.3%)の増益となりました。当事業部門は、為替の影響を受けない国内を中心に、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを営んでおります。

【投資情報】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間
減価償却費(有形固定資産)	1,242	1,382
設備投資額(有形固定資産)	1,364	1,392
研究開発費	570	520
有利子負債	3,861	3,315

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較し△1,345百万円減少し218,642百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では現金及び預金が△2,922百万円減少した一方で、たな卸資産が3,048百万円、前渡金などにより流動資産その他が962百万円それぞれ増加いたしました。固定資産では有形固定資産が△861百万円、投資有価証券の時価の減少などにより投資その他の資産が△1,877百万円それぞれ減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し△77百万円減少し56,655百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では支払手形及び買掛金が1,717百万円、前受金などにより流動負債その他が1,187百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が△645百万円、賞与引当金が△1,244百万円それぞれ減少いたしました。固定負債では長期借入金が△415百万円、繰延税金負債などにより固定負債その他が△749百万円それぞれ減少いたしました。

非支配株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し△1,268百万円減少し161,987百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が1,211百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の減少などにより、その他の包括利益累計額が△2,575百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は62.7%と前連結会計年度末と比較し0.2ポイント減少するとともに、1株当たり純資産は1,129円04銭と△11円24銭減少いたしました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の業績は計画の範囲内で推移しているものと判断し、平成30年5月14日に発表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

【通期連結業績（平成31年3月期）の見通し】

(単位：百万円)

	平成31年3月期 (予想)	前期比	進捗率 (第1四半期)
売上高	116,500	1.4%	24.1%
営業利益	18,200	1.2%	22.0%
経常利益	20,600	△0.7%	24.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	12,600	△1.0%	22.5%

(通期予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。)

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,673	52,751
受取手形及び売掛金	39,980	40,624
有価証券	1,632	1,206
商品及び製品	2,725	2,906
仕掛品	1,907	4,705
原材料及び貯蔵品	4,598	4,667
その他	3,572	4,534
貸倒引当金	△167	△167
流動資産合計	109,921	111,228
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,443	21,124
機械装置及び運搬具（純額）	16,621	16,442
土地	16,139	16,071
建設仮勘定	4,615	3,404
その他（純額）	2,077	1,993
有形固定資産合計	59,897	59,036
無形固定資産	1,390	1,477
投資その他の資産		
投資有価証券	37,397	35,598
退職給付に係る資産	104	88
その他	11,371	11,309
貸倒引当金	△96	△96
投資その他の資産合計	48,777	46,900
固定資産合計	110,066	107,413
資産合計	219,988	218,642
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,201	22,919
短期借入金	190	102
1年内返済予定の長期借入金	1,271	1,430
未払法人税等	2,474	1,828
賞与引当金	2,578	1,333
その他	12,179	13,366
流動負債合計	39,895	40,980
固定負債		
長期借入金	1,601	1,186
退職給付に係る負債	9,491	9,495
その他	5,742	4,993
固定負債合計	16,836	15,674
負債合計	56,732	56,655

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	4,286	4,286
利益剰余金	122,455	123,666
自己株式	△7,539	△7,539
株主資本合計	123,762	124,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,943	11,874
繰延ヘッジ損益	3	3
為替換算調整勘定	1,693	182
退職給付に係る調整累計額	△50	△46
その他の包括利益累計額合計	14,589	12,014
非支配株主持分	24,902	24,998
純資産合計	163,255	161,987
負債純資産合計	219,988	218,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	25,641	28,091
売上原価	15,120	17,573
売上総利益	10,521	10,517
販売費及び一般管理費	6,189	6,518
営業利益	4,331	3,998
営業外収益		
受取利息	43	53
受取配当金	307	358
受取賃貸料	86	112
持分法による投資利益	188	359
為替差益	113	143
その他	121	202
営業外収益合計	861	1,229
営業外費用		
支払利息	30	41
その他	69	121
営業外費用合計	99	162
経常利益	5,094	5,066
特別利益		
固定資産売却益	10	4
投資有価証券償還益	70	-
その他	-	0
特別利益合計	80	4
特別損失		
固定資産除却損	43	27
環境対策引当金繰入額	15	-
その他	14	0
特別損失合計	73	27
税金等調整前四半期純利益	5,100	5,043
法人税等	1,512	1,582
四半期純利益	3,588	3,460
非支配株主に帰属する四半期純利益	632	631
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,955	2,829

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	3,588	3,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,437	△939
為替換算調整勘定	△470	△1,761
退職給付に係る調整額	5	5
持分法適用会社に対する持分相当額	△120	△168
その他の包括利益合計	851	△2,864
四半期包括利益	4,439	595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,875	339
非支配株主に係る四半期包括利益	563	256

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

税効果会計に係る会計基準の適用指針の適用

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これにより個別財務諸表における子会社株式等に係る将来加算一時差異の取扱いを、連結財務諸表における子会社株式又は関連会社に対する投資に係る将来加算一時差異の取扱いに合わせ、繰延税金負債の取崩しを行いました。

なお、当該変更に伴う影響は軽微であります。

(追加情報)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	11,267	2,456	10,903	24,627	1,014	25,641	—	25,641
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	312	129	8	451	287	738	△738	—
計	11,580	2,585	10,912	25,078	1,302	26,380	△738	25,641
セグメント利益又は 損失(△)	2,368	△32	2,275	4,612	45	4,657	△325	4,331

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△325百万円には、セグメント間取引消去69百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△395百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	11,611	4,119	11,367	27,098	992	28,091	—	28,091
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	245	49	12	307	334	641	△641	—
計	11,857	4,168	11,380	27,406	1,326	28,733	△641	28,091
セグメント利益又は 損失(△)	2,065	△92	2,274	4,247	47	4,294	△295	3,998

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、運送事業、太陽光発電事業などを含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△295百万円には、セグメント間取引消去62百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△358百万円が含まれております。なお、全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移 (連結)

平成31年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	30年4月～30年6月	30年7月～30年9月	30年10月～30年12月	31年1月～31年3月	30年4月～31年3月
売上高	28,091				28,091
売上総利益	10,517				10,517
営業利益	3,998				3,998
経常利益	5,066				5,066
税金等調整前当期純利益	5,043				5,043
親会社株主に帰属する当期純利益	2,829				2,829
総資産	218,642				—
純資産	161,987				—

平成30年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	29年4月～29年6月	29年7月～29年9月	29年10月～29年12月	30年1月～30年3月	29年4月～30年3月
売上高	25,641	27,824	29,967	31,406	114,840
売上総利益	10,521	10,588	11,611	10,476	43,197
営業利益	4,331	4,331	5,439	3,881	17,984
経常利益	5,094	5,298	6,297	4,059	20,750
税金等調整前当期純利益	5,100	5,275	6,303	4,060	20,740
親会社株主に帰属する当期純利益	2,955	3,414	4,033	2,317	12,721
総資産	196,545	204,738	211,629	219,988	—
純資産	149,106	155,844	161,781	163,255	—

平成29年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	28年4月～28年6月	28年7月～28年9月	28年10月～28年12月	29年1月～29年3月	28年4月～29年3月
売上高	24,714	25,784	25,853	33,217	109,569
売上総利益	9,603	9,874	10,223	11,574	41,275
営業利益	3,794	3,691	4,389	5,059	16,934
経常利益	3,868	3,865	5,434	5,610	18,779
税金等調整前当期純利益	3,844	3,828	5,479	6,641	19,793
親会社株主に帰属する当期純利益	2,327	2,424	3,602	3,874	12,228
総資産	183,478	184,466	188,604	197,260	—
純資産	136,265	135,991	137,483	146,502	—

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を適用前の数値です。

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失(△)			
		前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	6,910	7,158	247	3.6%	1,291	1,072	△ 218	△17.0%
	アジア	4,133	4,250	117	2.8%	850	740	△ 109	△12.9%
	欧米	223	202	△ 21	△9.5%	77	61	△ 16	△21.3%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	312	245	△ 67	△21.5%	149	190	41	27.9%
	計	11,580	11,857	276	2.4%	2,368	2,065	△ 303	△12.8%
装置 事業	日本	1,551	1,962	410	26.5%	△ 188	△ 35	152	81.1%
	アジア	886	2,157	1,271	143.5%	118	△ 90	△ 208	△176.2%
	欧米	18	—	△ 18	—	6	△ 10	△ 16	△252.1%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	129	49	△ 80	△62.0%	30	43	12	40.0%
	計	2,585	4,168	1,583	61.2%	△ 32	△ 92	△ 60	△189.2%
加工 事業	日本	6,393	6,815	421	6.6%	1,386	1,534	147	10.6%
	アジア	2,849	2,918	68	2.4%	702	560	△ 142	△20.2%
	欧米	1,660	1,634	△ 25	△1.6%	167	168	1	0.7%
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	8	12	3	41.0%	18	11	△ 7	△40.4%
	計	10,912	11,380	468	4.3%	2,275	2,274	△ 1	△0.0%
報告セグメント計		25,078	27,406	2,327	9.3%	4,612	4,247	△ 365	△7.9%
その 他	日本	997	973	△ 24	△2.4%	55	50	△ 5	△9.5%
	アジア	17	18	1	10.7%	△ 10	△ 3	6	67.8%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間の 内部売上高 又は振替高	287	334	46	16.2%	0	0	△ 0	△14.3%
	計	1,302	1,326	24	1.9%	45	47	1	3.3%
合計		26,380	28,733	2,352	8.9%	4,657	4,294	△ 363	△7.8%
調整額		△ 738	△ 641	97	13.2%	△ 325	△ 295	30	9.3%
連結損益計算書計上額		25,641	28,091	2,449	9.6%	4,331	3,998	△ 333	△7.7%

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第1四 半期連結 累計期間	当第1四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	16,935	17,741	805	4.8%	2,610	2,636	26	1.0%
アジア	7,906	9,345	1,439	18.2%	1,672	1,213	△ 458	△27.4%
欧米	1,905	1,836	△ 68	△3.6%	252	219	△ 32	△12.8%
合計	26,746	28,923	2,176	8.1%	4,535	4,070	△ 464	△10.2%
調整額	△ 1,105	△ 832	272	24.7%	△ 203	△ 72	131	64.6%
連結損益計算書計上額	25,641	28,091	2,449	9.6%	4,331	3,998	△ 333	△7.7%

(3) 四半期毎の業績の推移 (提出会社個別)

平成31年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	30年4月～30年6月	30年7月～30年9月	30年10月～30年12月	31年1月～31年3月	30年4月～31年3月
売上高	11,420				11,420
売上総利益	4,307				4,307
営業利益	1,333				1,333
経常利益	2,344				2,344
税金等調整前当期純利益	4,410				4,410
当期純利益	3,484				3,484
総資産	115,870				—
純資産	82,679				—

平成30年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	29年4月～29年6月	29年7月～29年9月	29年10月～29年12月	30年1月～30年3月	29年4月～30年3月
売上高	10,693	11,745	11,572	12,675	46,687
売上総利益	4,104	4,076	4,594	3,935	16,711
営業利益	1,420	1,315	1,789	1,166	5,692
経常利益	2,730	2,177	2,195	3,050	10,154
税金等調整前当期純利益	2,746	2,164	2,192	3,062	10,166
当期純利益	2,059	1,623	1,644	2,435	7,764
総資産	102,901	107,966	107,788	114,643	—
純資産	75,402	79,467	81,036	81,751	—

平成29年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	28年4月～28年6月	28年7月～28年9月	28年10月～28年12月	29年1月～29年3月	28年4月～29年3月
売上高	9,966	10,732	10,702	11,985	43,387
売上総利益	3,972	4,080	4,354	4,293	16,701
営業利益	1,283	1,232	1,568	1,342	5,426
経常利益	1,968	1,793	2,356	2,575	8,694
税金等調整前当期純利益	1,945	1,758	2,400	3,858	9,963
当期純利益	1,459	1,318	1,800	2,894	7,473
総資産	93,498	97,280	97,919	102,012	—
純資産	68,849	71,302	70,880	73,230	—

※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を適用前の数値です。